第５章　地域福祉の推進にあたって

第１節　計画の推進体制の強化・充実

地域住民の主体的な参画と福祉関係団体・事業者の協働のもと、地域での各種福祉活動や交流活動の支援などに継続的に取り組むとともに、地域住民、社会福祉協議会、民生委員・児童委員、福祉事業者等がそれぞれの立場や役割を果たしながら、支え合い、連携して計画を推進していきます。

（１）社会福祉協議会との連携強化

住民へのきめ細かい福祉サービスを提供するため、社会福祉協議会を地域福祉推進の中心的な組織として位置づけ、事業運営等に対して支援し、地域の福祉活動を推進していきます。

（２）民生委員・児童委員等との連携強化

民生委員・児童委員は、地域福祉の担い手であり、市民とともに活動するリーダーとしての役割を担っています。それぞれの役割や特性を生かし、主体的な活動が展開されるよう、ネットワークの構築を図ります。

（３）自治会との連携強化

自治会は、市民にとって身近な地域におけるコミュニティの一つであり、住民同士の支え合いの関係性を構築する上で中心的な役割を果たすことが期待される組織です。市民の自治会への参加促進を図るとともに、適切な情報共有・連携を図ることで、地域住民同士の支え合いを支援していきます。

（４）団体・事業者等との連携強化

老人クラブ、婦人団体等をはじめ、地域の各種団体や住民グループ等が連携し、自主的に取り組む福祉活動の充実を図るとともに、NPO[49]や民間企業の協力を得ながら福祉事業を推進し、地域福祉活動の拡大を図ります。

また、介護福祉サービスや障害福祉サービスを提供する事業者、医療機関等との連携を図り、市民がライフステージに応じた適切な支援を受けられるような体制づくりを進めていきます。

（５）国・大分県、専門分野の関係機関との連携強化

国及び大分県の動向を把握しつつ、地域福祉に関連する情報共有、調査研究等に積極的に協力していきます。また、保健・福祉、医療など幅広い領域の関係機関との連携を深めます。

---

[49] 民間の、営利を目的としない社会的活動を行う団体。

第２節　市民・地域の役割

地域福祉の推進においては、市民による積極的な地域活動への参画が不可欠です。年齢や性別、障がいの有無など、あらゆる属性を超えた交流・助け合いの中で、すべての人がその人らしい暮らしを続けられる豊後大野市をつくっていくための市民・地域の役割を以下のように定めます。

■市民と地域の役割（自助・共助）■

基本目標１ **つながり支え合う地域をつくる**	● 「おはようございます」「こんにちは」日頃のあいさつでみんなにやさしい地域をつくりましょう。 ● 困っている人を見かけたら「大丈夫ですか」と声をかけましょう。 ● 地域の活動に参加しましょう。
基本目標２ **安心して暮らせる地域をつくる**	● 困っている人を見かけたら「大丈夫ですか」と声をかけましょう。 ● 避難場所や避難経路、非常持ち出し品を確認しましょう。防災訓練に参加しましょう。 ● 遠く離れて暮らす家族でも、積極的にコミュニケーションを取りましょう。 ● 地域の見守り活動に参加しましょう。
基本目標３ **自分らしく暮らせる地域をつくる**	● 健康や福祉に関する正しい知識を身に付けましょう。 ● 困っている人を見かけたら「大丈夫ですか」と声をかけましょう。自分だけで解決しようとせず、市役所や専門機関と相談しましょう。 ● 生活習慣の改善でより健康に。定期健診などで自分の心身について理解を深めましょう。 ● 人権について理解を深めましょう。
基本目標４ **地域福祉のネットワークを強化する**	● ひとりで悩まず、家族や友人、民生委員・児童委員、相談窓口等に相談してみましょう。 ● 地域の住民・団体等と積極的に情報交換をしましょう。 ● 幅広い世代と積極的に交流しましょう。

第３節　計画の点検及び評価

本計画は、地域住民や福祉関係団体の代表者が参加した豊後大野市地域福祉計画策定委員会の提言を受けながら、「つなぐ　つながる　支え合うまち豊後大野」の実現を目標として定めたものです。この目標を達成するためには、地域住民や関係団体が主体的に地域づくりに関与し、担い手となって取り組むことが必要です。

市の関係課の担当者で構成される豊後大野市地域福祉計画策定作業部会において、計画に基づく取り組みの進捗状況を毎年評価・共有します。また、社会情勢の変化や制度の変更等による適時見直しや、必要な事項の協議を豊後大野市地域福祉計画策定委員会で行います。なお、進捗状況の点検・把握を行うための指標は以下のとおりです。

■評価指標と目標の方向性■

基本目標	指標名	現状（値）	目標の方向性
基本目標１	隣近所で、困り事を抱える人たちから助けの求めがあったときに「積極的に対応したい」と回答した市民の割合	20.9%	↗
基本目標２	住み慣れた地域で安心して暮らすことが「できている」または「どちらかといえばできている」と回答した市民の割合	78.3%	↗
基本目標３	毎日の暮らしの中で感じている悩みや不安として「自分の健康のこと」と回答した市民の割合	61.1%	↘
基本目標４	多機関協働機能の整備	未設置	設置

第４節　計画の周知

本計画の内容を幅広く市民に周知するため、「市報ぶんごおおの」や市Webサイト等の各媒体を活用し、情報発信を行います。また、計画の普及を図るため、社会福祉協議会、民生委員・児童委員や自治会等と連携し、すべての市民が主体的に地域づくりに関与できるよう努めます。